



奈良県感染症情報

令和元年 第 36 週(9 月 2 日～ 9 月 8 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RS ウイルス感染症	4.32	(2.91)	↑↑↑	↑	↑↑↑	↑↑↑
2	感染性胃腸炎	3.21	(2.50)	↗	↑	→	↑↑↑
3	ヘルパンギーナ	1.06	(1.35)	↘	↓	→	↗
4	手足口病	1.00	(0.94)	↓	↓	↓	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.88	(1.21)	→	↗	↘	↓

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減：過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

RS ウイルス感染症報告数がさらに増加しています。中和保健所管内西部地域で報告数が急増しており、定点あたり報告数が 11.83 と非常に高い状態です。その他の地域も、内吉野保健所管内を除くすべての地域で報告数が増加しています。

また、インフルエンザの報告が出てきています。第 36 週は奈良市保健所管内では 10 件、県内全体では 15 件の報告がありました。

RS ウイルス感染症もインフルエンザも、感染経路は患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことで感染する飛沫感染と、ウイルスが付着した手や物品(手すり、おもちゃなど)を触ったりなめたりすることによる接触感染です。流水・石けんによる手洗いや、うがい、咳エチケットを心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

8 月末から奈良市各地区からインフルエンザ A 型がみられるようになっていきます。症状は従来同様に突然の高熱と咳嗽です。

RS ウイルス感染症も幼児で見られます。手足口病やヘルパンギーナ等の夏かぜは減少してきました。

季節の変わり目で喘息の発症が子供から成人まで増えています。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

RS が増加、紹介入院例もある。

発熱、咽頭発赤、目やにを伴う例が増加、眼脂からアデノ陽性例があるが、咽頭からは陰性例が多い。

手足口病様例が再び増加、発熱軽度、咽頭はヘルパンギーナ様でなく、手足の発疹は水疱を形成しない。

感染性腸炎も僅かずつ流行。インフルエンザは見られていない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

RS ウイルス感染症の流行が続いている。発熱遷延例(9 日間高熱)もみられる。

手足口病の流行はおさまってきたが、ヘルパンギーナが増加している。

B 型インフルエンザが散見されている。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 1 年 第 36 週 9 月 2 日 ~ 8 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	15 (0.27)	10 (0.71)	2 (0.14)		1 (0.10)		2 (0.50)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	147 (4.32)	19 (2.11)	18 (2.00)	28 (4.00)	71 (11.83)		11 (5.50)	
咽頭結膜熱	14 (0.41)	2 (0.22)	6 (0.67)	3 (0.43)	3 (0.50)			
A群溶連菌咽頭炎	30 (0.88)	8 (0.89)	8 (0.89)	7 (1.00)	7 (1.17)			
感染性胃腸炎	109 (3.21)	24 (2.67)	32 (3.56)	21 (3.00)	25 (4.17)	3 (3.00)	4 (2.00)	
水痘	7 (0.21)	2 (0.22)	2 (0.22)	1 (0.14)	2 (0.33)			
手足口病	34 (1.00)	6 (0.67)	7 (0.78)	8 (1.14)	12 (2.00)		1 (0.50)	
伝染性紅斑	21 (0.62)	9 (1.00)	2 (0.22)	5 (0.71)	4 (0.67)		1 (0.50)	
突発性発しん	17 (0.50)	2 (0.22)	2 (0.22)	3 (0.43)	10 (1.67)			
ヘルパンギーナ	36 (1.06)	3 (0.33)	4 (0.44)	12 (1.71)	10 (1.67)		7 (3.50)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)						1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4 (0.40)			2 (1.00)	2 (1.00)			
基底定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
無菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市1、郡山1、中和2、吉野1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(奈良市1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(奈良市1、中和1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(奈良市1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(奈良市1) 梅毒2件(中和2) 播種性クリプトコックス症1件(中和1) 百日咳1件(奈良市1、78歳)

❖ 第36週のトピックス ❖

◆厚生労働省:
テングニア熱やデング熱等の蚊媒介感染症に関する注意喚起等について
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000540238.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男			1																		7	5653	
	女						1	1		2	2	1						1				8	5867	
RSウイルス感染症	男	4	19	27	19	7	2	1														79	455	
	女	3	12	31	13	8	1															68	382	
咽頭結膜熱	男			3	4	1	1															11	357	
	女				2																	3	249	
A群溶連菌咽頭炎	男					4	3	2	3	4	1	2										19	1212	
	女				2		2		1	2	3											11	919	
感染性胃腸炎	男		3	10	3	7	4	8	3	6	1	1	7	1	6							60	3387	
	女	1	5	6	4	5	4	5	3	2	2		3	1	10							49	3079	
水痘	男		1				1				1											4	185	
	女		1						1													3	127	
手足口病	男		2	7	4	1	2			1												18	1558	
	女			8	3	3	1			1												16	1320	
伝染性紅斑	男				2	2	2	5														14	221	
	女		1																			14	221	
突発性発しん	男		1	7																		8	268	
	女		2	4	2	1																9	207	
ヘルパンギーナ	男		1	2	4	2		2	2													14	393	
	女	1	2	5	3	3	4	1	1	1				1								22	365	
流行性耳下腺炎	男																						1	34
	女																						1	31
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男			1																		4	114	
	女																							106
細菌性髄膜炎	男																					1	8	
	女																						6	
無菌性髄膜炎	男		1																			1	9	
	女																						7	
マイコプラズマ肺炎	男																						21	
	女																						26	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						46	
	女																						35	

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

